「学生字幕翻訳コンテスト」に参加してみませんか？

http://democracynow.jp/contest

世界各地の公共メディアで放送されている「デモクラシー・ナウ！」 その日本語字幕制作に挑戦してみませんか？ ニューヨーク発の独立報道番組を通じて、市民の視点に立ったグローバルな真実を深く学び、発信につなげましょう。

「字幕翻訳」と言っても、さまざまなジャンルがあります。皆さんがよく知っているのは映画の字幕でしょうか。有名な字幕翻訳者はこの分野に多いですね。それに比べればニュース番組の字幕は地味ですが、いま世界で起きているリアルな出来事を追求する面白さと、その知識の伝達に自らも参加する手ごたえがあります。

インターネット経由でつながった世界では、情報の受け渡しが個人の手にゆだねられ、一人ひとりがメディアとして機能することになります。従来の商業マスメディアとはまったく違った情報伝達のあり方が模索されるなかで、能動的な個人がそこに参加する効果的な方法として、独立報道番組「デモクラシー・ナウ！」の字幕翻訳には大きな可能性があります。

メディア、国際情勢、政治経済、多文化共生、異文化コミュニケーション、翻訳・通訳など、幅広い分野を学ぶ皆さんからの多数の応募をお待ちしています。

スケジュール

受付開始：2025 年 6 月 15 日（日）10:00

応募締め切り：2025 年 11 月 23 日（日・祝）17:00（時間厳守）

審査結果発表：2026 年 1 月 課題ごとの最優秀作品をニュース映像にかぶせて公開します

応募方法 **受付の後、応募要領と提出用字幕シートのご案内をします**

http://democracynow.jp/contest/form **（参加費無料）**

主催：「デモクラシー・ナウ！学生字幕翻訳コンテスト」実行委員会

ご不明の点は、メールでお問い合わせください contest#democracynow.jp（#を@にして送信）

◇学生字幕翻訳コンテスト 2025 課題ラインアップ◇

2025 年度（第 11 回）は 6 つの課題動画を用意しました。現代社会の問題に深く切り込むトピックばかり。自分の関心に合わせて選べます。

課題1：デジタル・アーカイブ

政府サイトのデータ消滅をインターネット・アーカイブが救う—Part 2（11 分） https://democracynow.jp/dailynews/25/02/28/5

第二次トランプ政権の発足以来、何千もの政府系サイトの情報ページが削除されています。公衆衛生、科学研究、LGBTQ の権利などの分野です。公共の情報が大量に消されていく中、それと競争するように「インターネット・アーカイブ」が削除されたリソースのコピーを保存しようと奮闘しています。インターネット・アーカイブはサンフランシスコを拠点とする非営利団体で、永久に失われかねないウェブサイトをスナップショットの形で保存・検索するツール、Wayback Machine を運営しています。2004 年以降は、大統領が交代するたびに連邦政府のウェブサイトをアーカイブしてきました。新政権がオンライン・リソースの一部を見直すのは普通のことですが、トランプ政権が実行する破棄のスピードは衝撃的です。Wayback Machine ディレクターのマーク・グラハム（Mark Graham）のインタビュー、課題はパート2の冒頭から 11 分。

日本語字幕つき参考動画：政府サイトのデータ消滅をインターネット・アーカイブが救う—Part 1（YouTube でも視聴可）

課題2：ペイパルマフィアの白人至上主義

イーロン・マスクからピーター・ティールまで トランプを取り巻く南アフリカ・ルーツのオリガルヒ（9 分）

http://democracynow.jp/dailynews/25/02/10/3

トランプ大統領が南アフリカを標的にしているのは、政権内の有力アドバイザーである世界一の金持ちイーロン・マスクと、その仲間の超リッチな金融テック業界の大物たちが全員、「何らかの形で子供の頃に南アフリカで育った」ことと結びついています。今や米国のオリガルヒ（寡頭支配集団）といわれるこの男たちは、ペイパル創業に関わったことから「ペイパルマフィア」として知られています。

日本語字幕つき参考動画：白人地主を救うため、トランプ大統領は南アフリカへの援助を打ち切り、数百万人の命を危険にさらす（YouTube でも視聴可）

課題3：AI のオープンソース化

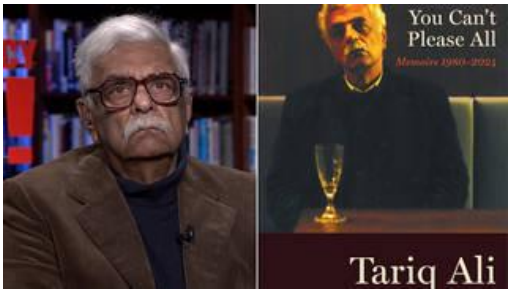
中国のスタートアップ DeepSeek が米国製 AI を追い抜く性能でビッグ・テックを震撼させる（8 分） http://democracynow.jp/dailynews/25/01/29/4

国企業が低コストで開発した優秀なオープンソース・モデル **DeepSeek** の登場は、米国の **AI** 業界に激震を走らせました。これは単に目先の業績予想に影響するというだけではありません。従来のシリコンバレーのビジネスモデルは、巨額投資による技術独占と顧客囲い込みによって高額料金を課すというものですが、そのようなあり方を根底から揺るがしているのです。

日本語字幕つき参考動画：反中感情に煽られた TikTok 弾圧はビッグ・テックの真の脅威を見落としている（YouTube でも視聴可）

課題4：極右の台頭

作家タリク・アリ　トランプのガザ民族浄化容認や世界的な極右の台頭を語る（13 分）　http://democracynow.jp/dailynews/25/02/15/3



有名な英国の作家でアクティビストのタリク・アリを迎え、多岐にわたる話題を語ります。彼は New Left Review の編集委員を長年務めた人物で、このほどメモワールの第二弾が出版されました（第一弾は 60 年代の話で、今回はそのつづき）。前半のセグメントでは、中東情勢をめぐる現状や、世界各地で台頭する右翼の権威主義などを取り上げています。彼はエドワード・サイードとも親交があり、パレスチナ問題をめぐる一国家解決案と二国家解決案の歴史的経緯についても説明しています。その一方で、激動の 60 年代にはミック・ジャガーもデモ友だったというエピソードもあります。

日本語字幕つき参考動画：タリク・アリの『ストリート・ファイティング・イヤーズ』（YouTube でも視聴可）

課題5：中南米

グアンタナモに大規模移民収容施設をつくるトランプの計画はハイチ難民を収容した過去を想起させる（7 分）

http://democracynow.jp/dailynews/25/02/04/3

トランプ大統領が強硬な反移民政策の一環として打ち出した、難民申請者をキューバのグアンタナモに収監するという政策は、じつは目新しいものではありません。「テロとの戦いにおける永遠の監獄」として知られるようになる以前から、グアンタナモは米軍基地としての「あいまいな主権」を利用して、カリブ海諸国からの難民申請者を収監する施設として長年にわたり使われてきたのです。グアンタナモの歴史を研究する学者ミリアム・ペンサックは、この歴史を説明したうえで、現在ドミニカ共和国がハイチ系の人々を拘束し強制送還しているように、カリブ海地域にすでに存在する人種差別的な移民排斥政策が、トランプ大統領の反移民政策と連携の可能性を示唆しています。

日本語字幕つき参考動画：グアンタナモ米軍基地　テロ容疑者収容開始から6周年（YouTube でも視聴可）

課題6：学問の自由

キャスリン・フランク法学教授：コロンビア大学は 4 億ドルを人質に取られて屈服　トランプの横暴を助長（12 分）

https://democracynow.jp/dailynews/25/03/24/3

米国の学問の自由は正念場を迎えています。コロンビア大学は、4 億ドルの連邦助成金を差し止めるというトランプ政権の脅しに屈して、政府が要求する措置をとりました。学内でのマスク禁止、学生を取り締まる警備要員の雇用、中東・南アジア・アフリカ学部やパレスチナ研究センターを監督する副学長の任命などのです。イスラエル批判で辞任に追い込まれた同大学のキャスリン・フランク法学部教授が、米国の大学における言論弾圧の現状について語っています。コロンビア大学はテスト・ケースであり、他の大学でもどこまで弾圧できるかを試しているのだと彼女は言っていましたが、実際これに続いてペンシルベニア、プリンストン、コーネル、ブラウンなど多数の大学で助成金を人質に脅しがかけられました。課題は冒頭から 12 分。

日本語字幕つき参考動画：コロンビア大学のガザ連帯キャンプ　逮捕や停学のリスクを冒して続行（YouTube でも視聴可）

よくある質問

1.「デモクラシー・ナウ！」って何？

ニューヨークから発信される独立報道番組です。月～金の毎朝 8 時から一時間、公共系のラジオとテレビで北米全域に放送されています。米国と世界の出来事を市民の視点から取りあげ、商業メディアとは一線を画した報道姿勢が高く評価され数々の賞を受賞しています。
詳しくは、http://democracynow.jp/about/democracynow をご覧ください。

2. 応募資格は？

高等教育機関（短期大学、大学、大学院、高等専門学校など）に所属する学生が対象です。海外ニュースの字幕翻訳に興味があり、高校卒業程度の英語力と基本的なインターネット環境が必要です。

3. 字幕は初めてでも大丈夫？

字幕翻訳に関する最低限の基本ルールを指示しますので、事前の知識は問いません。エントリーすると字幕シート（ワードファイル）にアクセスできます。指定された審査用の字幕シートで提出しますので、字幕作成ソフトなどは不要です。課題にチャレンジしながら、同時に字幕翻訳のスキルも学びましょう。

4. グループでも応募できる？

個人でもグループでも OK です。グループの場合はグループ名とともに、代表者の氏名を筆頭にして、全員の氏名を書いてエントリーしてください（後から変更もできます）。個人情報はコンテスト以外の目的では使用しません。

5. どうやって応募するの？

「デモクラシー・ナウ！ジャパン」の「コンテスト」のフォームに必要事項を記入して、まずはエントリーしてください。エントリー受付の確認後に、応募要領と提出用字幕シートのご案内をします（Fax や郵送はしない）。
複数の課題に取り組むこともできますが、エントリーと応募**（無料）**は課題ごとに行ってください。

6. 応募作品の著作権は？

応募作品の著作権は、「デモクラシー・ナウ！ジャパン」に帰属します。実際に字幕として公表する際には校正しますので、修正が入ることもあります。応募作品は返却しません。

7. 他にも質問があるのですが…

お問い合わせは contest#democracynow.jp まで（#を@にして送信）